



K.I.F.A. Plaza

第2号

1989年3月15日発行

〈発行〉

鎌ヶ谷市国際交流協会

編集・広報部会

活動 報告

K.I.F.A. A YEAR-END PARTY

- 活動報告 K. I. F. A. 交流パーティ(忘年会)
- 特別企画 海外派遣者座談会
- 会員紹介 談話室・SALOON
- 部会だより 事業報告・新年度抱負
- プラザ情報 Why don't you join us?

昨年12月11日、市内在住外国人・留学生など38名の外国人を交えて約120名が交歓し、親睦をはかりました。梨ワインの乾杯に始まり、談笑でうちとけ、招待者の紹介と続いたころには和やかな人の輪ができました。

茶席で一息いれ、ヨルダン青年の踊りに湧き、ゲームに熱中しました。参加者全員が満足した楽しい半日でした。



国はそれぞれ違っても K.I.F.A. 会員のお友達
「友人がふえました。」



しなやかな身体が
リズムカルに動いて。
ヨルダン舞踊に
拍手喝采



—ビンゴゲーム—
なかなか賞品獲得までに
ならないよ

特別企画 海外派遣者座談会

第1回の海外派遣者に感じた事などを率直に語っていただきました。その座談会を取材して、ほんの一部を要約してここに紹介させていただきます。

事前準備で感じたことなど

- ジャパンナイトという交流会に使う遊び道具を買った際、ホームステイ先へのおみやげを買うのに、相手の家族構成が分からないので、何を持っていったらいいのか分からなくて困った。
- テーマは「カナダの一般家庭の日常生活」を選んだものの予備知識を持つと偏見を持ってしまうと思ったので余り用意しなかった。おみやげはパーティを成功させるために、けん玉、トランプ、ちょうちんなどを持っていった。子供に評判がよかった。
- 団員間で写真つきの名簿をつくって、年齢の幅を越えてお互いにあだ名で呼び合うことにして、まず団員同士がうちとける努力をしたことが心に残る事前準備だった。
- おみやげは伝統的日本製品の浮世絵や日本人形などを持参した。しかし、それは日本の生活から遊離しており、日本を理解するどころか、時代錯誤も甚だしい。今後のおみやげは現代の日本社会を反映するようなものがないと思った。



飯田さん

特に感動したことなど

- カナダの町並みが本当にきれいだったこと。芝生もきちんとしており、電柱はないし、街灯の周りにはきれいな花を植えている。何と市の予算の3番目が町並みの管理だという。所得は日本人が上でも、日本人にないゆとりを感じた。市民が自分の住んでいる町を自分のものと考えていて、お互いに大事にしようじゃないかという意識が強いと思った。

カナダでは別に上流家庭だから受け入れるというのではなく、一緒に行った団員の中には川の上のフローティングハウスで13人が生活しているという所にステイした者や、片やベンツとポルシェという家庭もあった。彼らはそういうことを気にしないで気軽に受け入れに参加しているのはすごいと思った。

- 西ドイツに行って、昔からの家並みの景観を壊さないように



鈴木さん

人々がみんな気を使っていることに感動。どこの町も何百年前のままでいるし、戦災後も以前とそっくり同じように復元している。彼らヨーロッパ人は、変わるべきものと大事に守っていくものをきちんと分けていて、科学技術は日進月歩でも町並みはきちんと守ってきたのだと思う。地方自治体が町をつくる時に屋根の色を統一するなど、どこまで関与するとカナダやヨーロッパに近い町並みになるのかと考えてしまった。工場も、外から見ただけではそれとわからないくらいだし、各戸が花を飾っている。



寺脇さん

- ドイツは主婦がよく働いて、質素だけどとてもきちんとしていること。お客さんがステイしていても自分のスケジュールを壊さないこと。古いものを大事にしている、ひいおばあさんから受け継がれている家具等がピカピカと磨かれて使われているのに感動。

被派遣者以外からの意見



高橋さん



大同さん

- 外国人は意味不明の日本的なものはあまり喜ばない。日本の伝統製品をもらっても使い方がわからないのでただ飾ってある。やはり現在の日本を知ってもらうための交流だから、昔にさかのぼる必要はないと思う。浮世絵をさし上げるのなら、その物の持つ意味をしっかりと説明してあげる必要がある。自分がもらって嬉しいものがよく手造りのものでもいいのではないか。お金をかけるよりアイデアをプラスするとよい。

事前研修で相手の家族構成なり、趣味をチェックできるとよいと思う。例えばフェニックスなど暑いところでは、日本の甚兵衛さんなどは喜ばれると思う。事前研修で行き先のバックグラウンド、文化を研究していくべきだと思う。

- 受け入れ事業を世話しているが、相手がおみやげに困るだろうと思って、前もってこちらの家族構成と年齢を知らせるようにしている。鎌ヶ谷でもホームステイの受け入れをやるようになったら、気を配っていくべきだと思う。



小林さん

- ホームステイに慣れ過ぎると手抜きしがちだから、何度も同じ場所に行くのは考えもの。二、三年で回転するとよいと思う。(紙面の都合でほんの一部です)

新たな出会いを求めて

青年海外協力隊員

“穂刈郁子さん、市長を表敬訪問”

昨年12月22日、青年海外協力隊(昭和63年度第2次)の一員として参加が決まった鎌ヶ谷市の穂刈郁子さん(中沢在住)が、皆川市長を表敬訪問しました。

穂刈さんは、スリランカへ赴任し、現地で2年間養護教育の指導に当たります。

表敬訪問では、スリランカの生活習慣に始まり、文化、政情のことから、穂刈さんの生立ち、海外は今回が初めてであることなど、約30分間にわたり皆川市長と懇談、市長の激励を受けました。

また、席上、鎌ヶ谷市とK.I.F.A.から饞別が送られました。

穂刈さんは、今年1月5日に日本を出発、今ごろは日焼けした顔で忙しい毎日を送っていることでしょう。

穂刈さんの健闘を祈ります。



“生活習慣も、ものの考え方も全く違う人達と一緒に働くことは大変ですが、貴重な体験ですね。身体に十分気をつけて頑張ってください。”

カナダからの手紙

在カナダ 石川 文代

ここに住んでいると毎日が国際交流です。

今朝は、おとなりさんをお茶に呼びました。中国系ベトナム人の主婦でBettyさん。8年前に家族、親類とともに、ポートピープルになって香港に漂着き、カナダに住みたい希望が叶えられ今では幸せに暮らしている。が難民生活の時の栄養失調が今だにたたって、家族全員余り健康とは言えないそうです。Bettyさんはベトナムでは2年間だけ週一回の英語の授業を受けたと言いますが、身ぶり手ぶりに絵なども加えて十分に会話ができますし、お互いにちゃんと意思が通じ合っているのがわかるのです。

カナダに移住して25年になるイタリア人のEmmaさん。

この方は話好きで私や私の母を「コーヒーが入ったからいらっしやいよ」とよく電話で呼んでくれる楽しい人。

国際協力事業団 青年海外協力隊

青年海外協力隊事業は、昭和40年4月20日に政府事業(外務省所管)として発足しました。

以来21年間に、協力隊員が派遣された国の数は38ヶ国(アジア、アフリカ、中近東、中南米、南太平洋)、参加した協力隊員数は、のべ7,400人にのびります。

(数字はともに、昭和62年7月31日現在)

青年海外協力隊は、国際協力事業の中でも、特に、技術や技能を生かして開発途上国の国づくりに貢献しようとする青年の活動を支援することによって、その目的を達成しようとするものです。

協力隊事業は、ボランティア性、公募性、国民的基盤のうえにたった隊員活動の支援体制という特性をもっています。従ってひとりひとりの隊員の協力活動が主体であり、協力隊事務局は、その活動支援の中核的存在として、隊員活動が円滑にいくようにさまざまな努力をしています。

資格 満20歳以上、原則として35歳までの日本国籍をもつ青年男女

派遣国 本人の希望は尊重するが、受入先の職務、生活環境への適性および持っている技術と求められている技術の幅・内容等を考慮し、適材適所の決定を優先します。

派遣期間 2年間

協力隊に関する問い合わせ先

千葉県 社会部青少年婦人課育成班

〒260-91 千葉市市場町1-1

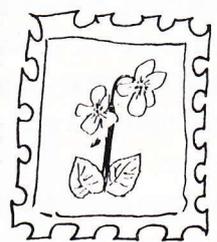
TEL 0472-23-2332



Emmaさんには愚痴をこぼせるようになりました。

イタリアのゴッドマザーのような人だからです。家族を愛し人を愛し、その胸と同じ位大きな包容力でもって受けとめてくれるような人なのです。……で私の結論ですが、人間は知り合って親しくなり信じ合えるようになって、いつしか顔のつくりの違い、髪の色の違い、足の長さの違い等々いっさいが目に入らなくなり、心の中だけが見えてくると、国際交流などという言葉そのものが存在しなくなるということ。

K.I.F.A.がいつの日か、ただのいろいろな人種、民族が集まり楽しく談話、情報交換などできるより有意義な団体となり、「誰れが一体国際交流などという大げさな名前をつけたんだろう？」などと疑問を持つように——それは取りも直さず鎌ヶ谷に本当の国際化が成ったということ——がんばりましょう!





ピッツバーグの思い出

日本大学理工学部助教

工学博士

鎌ヶ谷在住

新宮 清志

今までに私が訪問した国は、ソ連・スペインを始めとするヨーロッパ諸国・アメリカ（本土及びハワイ）・カナダの約10カ国。滞在総日数約1年半と海外での経験は決して長いとは言えない。

その中で一番長く生活したのはアメリカの13ヵ月である。この時の生活体験は最も印象深く、その後の考え方にも少なからず影響を及ぼしてきた。

私と家族が共に過したペンシルバニア州ピッツバーグを中心に、感じた事等を述べてみたい。

我々がピッツバーグに移り住んだのは昭和60年7月のことである。私がカーネギー・メロン大学（CMU）の客員研究員としてピッツバーグに滞在することになったからである。



Noll教授 Gurtin教授 筆者

私達は、大学から車で10分足らずの所にアパートを借りた。長男は歩いて3分程の所にある公立小学校1年生、次男は同じ敷地内にある幼稚園に通うことになった。

アメリカに行く前に、私は何度か国際会議において、英語で論文発表し、質疑応答をしてきたし、英語の個人レッスンも受けてきたので言葉に対して多少の自信はあった。しかし、アパートが決まってから、子供の学校の件で訪ねた教育委員会や保健所、更に電気・水道・電話等の諸手続き、医者や歯医者での診察等にあって辞書を片手に悪戦苦闘の連続であった。

当地での日々の生活は私に強烈な衝撃を与え続けた。

ピッツバーグの人達の話す英語の早さについて行けず、私にはまるで機関銃を撃つように感じられた。

精神力には自信のあった私も、軽いノイローゼにかかり悪夢にうなされるのがしばしばあった。

これは後で分った事であるが、CMUの大学院生でケンタッキーの田舎から来ている女子学生が言うには、「ピ

ッツバーグに来た当初は地元の人達が非常に早く喋るので、同じアメリカ人にもかかわらず何度も何度も聞き返した。」とのことであった。

また、アメリカ人と結婚し当地に20年以上生活している人でも、英語の微妙なところが分からなくて苦勞することがある、と幾人からも聞いた。

これらのことや、またアメリカ生活そのものへの適応から次第に当地での生活を楽しめるようになってきた。

この様な状態にまでなるのに約3ヵ月もの月日が経過していた。



ピッツバーグの我が家

多少心にゆとりのできた私達は、はじめて、車での小旅行をした。行き先はかの有名な建築家フランク・ロイド・ライトの設計した「落水荘」である。これはピッツバーグから車でわずか3時間程度の閑静な山の中に、自然に融和して佇んでおり深い感動を覚えた。

この小旅行に味をしめ、その後ワシントンD.C、ナイアガラの滝、トロント、オタワ、モントリオールなど、車のトランクに炊飯器や米、海苔などを詰め込んでアメリカやカナダの旅を楽しんだ。

アメリカでの目的は、(1)専門分野の研究 (2)英語力の向上 (3)異文化の理解 (4)友人を作ること、にあったが(2)~(4)のために積極的に我が家に於いてパーティを催した。多くはスキヤキ等の和食を用意し、アメリカ人、中国人、フランス人、イタリア人等々をたびたび招待し、家族全員で上記目的のために努力を続けた。

また、PTA等の会合があれば積極的に参加し、余暇には勉めてテレビやラジオを通し英語にふれる機会を持った。

アメリカはご承知のように人種の坩堝と言われるように多民族から成っている

が、白人、黒人、黄色人種を問わず多くの友人を持つことができた。

6ヵ月もすると子供たちは小学校や幼稚園にもすっかり慣れ、アメリカの子供達と英語



自宅でのパーティー

K. I. F. A. 法人会員一覧

アキヤマ技研工業(株)
三 恵
日興製作所
昭和工業(株)
城山建設(株)

(有) エース工業
(有) 海野ゴム工業
ペントップ工業(株)
(有) 岡田産業
鎌ヶ谷造園土木(株)

(有)アヅマ金型工業所
川上建設(株)
徳永鉄工(株)
永井建設(株)
(有)中村塗装

(有)保科発條製作所
(株)東洋ハウジング
(株)富田組
丸木興業建設(株)
丸小建設工業(株)
(有)御園工業

で口喧嘩ができるまでに成長した。

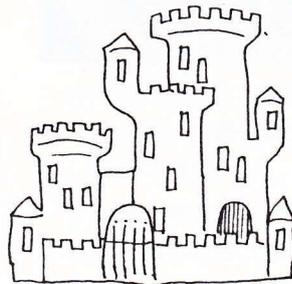
私の先生(Prof.Gurtin)に言わせれば「完全なPittsburgh Englishを話している」とのことであった。

この頃になると子供から私の英語の発音の修正を求められることがしばしばあった。しかし、私は相変らずのJapanese Englishであった。

「10才くらいまでに外国語を身につけないと、なかなか完全なる外国語を話すことは難しい」とはある言語学者の弁である。

日本に居ると外国語にふれる時間が極めて短い。一日に1時間でも2時間でも、少しでも多く外国語を話し、聞き、書き、そして読んでいくことが肝要なことである。

そして最も大切なことは、口さきの言葉の問題ではなく、真心を持って接することである。このことが真の友人を作ることになり、ひいては国や人種を越えた相互理解につながる、という事を肌で感じた次第である。



の正しい第一歩だろう。なぜならば、言葉が通じなくてはコミュニケーションは図れないからだ。では、言葉を話せば真の国際人になれるのだろうか。

年々日本を訪ねる外国人は増えている。その多くの人々は日本のすばらしい伝統を

見聞に来ている。ある外国人夫妻と東京見物をしたとき、彼らは銀座よりも築地、新宿よりも両国の下町を好んだ。「古い建物や狭い通りの一つ一つに下町の人々の温もりや人間らしさが感じられる」と言う。私は、人間味の大切さをつくづく思い知らされ、言葉で語られなくとも滲み出る温かさがその社会に漂っているのだと思った。そのような温もりや親切は、相手がどこの国の人であっても変わってはならないものだと思う。外国人だから分からないだろうとか、英語ができないから避けて通ろうなどという考えは持つてはならないことだと思う。

私は、前述の友人を助けてくれた女性こそ真の国際人であると思う。しかし、人間として当たり前のことをしたのであって、本当は「国際人」などという言葉を使うこと自体がおかしいのかもしれない。既に人間同士お互いに助け合って生きている人々にとっては、改めて国際化などということについて考える必要などないと思える。

今まで経済発展に重きを置いた日本だが、今後は日本人の持つ伝統・文化にスポットをあてた諸外国との交流をもっとして欲しいし、それぞれの民族の持つ独特の伝統・文化を更に知り合うことが必要だと思う。ただの文化の輸入になり過ぎて、主体性を失わないようにすることも大切だと思う。

今後、日本を訪れる外国人に「日本はヒューマンな国だ」と言われるような努力を一人一人が心掛けるときだと思っている。



真の国際人とは



外資系企業勤務
富岡在住

上原 恵

この間、日本在住米国人の一人と話していたら、料理をしていて手にけがをして大変だったという。そのときに、日本語が全くわからないラーメン屋の女性が彼を病院まで連れて行ってくれたということである。しかもその日は日曜日であり、日本語のわからない外国人を連れて、さぞかしその女性は四苦八苦したことと思う。

このような出来事はどこにでもありそうだが、私にとっては大変印象深かった。近年、巷では「国際化」とか「国際人」といった言葉が流行っているようだ。戦後、日本はあわただしく復興を遂げ、いつきの何もない状況から経済大国といわれるまでに発展した。経済的な面では、日本はG N P世界第1位のアメリカを脅かすほどになった。それなのに、なぜ現在が「国際化」なのだろうか。

人々は英語や他の言語を学ぶ。それは国際化するため

K. I. F. A. 法人会員一覧

(株) 檉葉ビジネス
N T T 鎌ヶ谷電報電話局
私市醸造 (株)
貴光 (有)
(有) フードショップ吉野

(有) 百年社
松沢よろい店 (株)
医療法人梨香会 秋元病院
学校法人石神学園
鎌ヶ谷ひかり幼稚園

船橋信用金庫鎌ヶ谷支店
(株) 京葉銀行鎌ヶ谷支店
(株) 千葉興業銀行鎌ヶ谷支店
(株) 第一勧業銀行鎌ヶ谷支店
(株) 千葉銀行鎌ヶ谷支店

(株) 住友銀行
船橋北口支店鎌ヶ谷出張所
(株) 三菱銀行船橋支店
鎌ヶ谷特別出張所
(株) 三和銀行船橋支店
鎌ヶ谷特別出張所

新年度もよろしく!

派遣部会長

荒井 茂行

派遣部会が、本格的な活動を開始できたのは、8月になってからでした。この時は既に協会としては派遣事業が進められていましたので、これを受け継ぐ形でのスタートとなりました。全てが初めてのことでしたので、様々な苦勞、不安がありましたが、帰国座談会、報告書の作制等の活動を何とか展開してまいりました。

さて、諸外国に出向き、実際に見聞することは、広い視野と豊かな国際感覚を身につけることはもちろん、正しく日本を理解する上でも重要なことでもあり、真の国際交流の精神を養うことになります。このことを念頭に置き、加えて昨年度の反省を踏まえ、次年度の派遣に関する一連の事業（募集、選考、研修、出発、帰国後の事後活動など）はより充実した活動を目指すべく、他の三部会との有機的な関係を保ちつつ、更に、部会員のチームワークを結集して新たな布石となるよう努力してゆきたいと思ひます。

皆様のご協力をお願いします。



広報部会長

加藤 記久枝

2月12日、食生態学研究者であり探検家、作家、大学講師などと幅広く活躍される西丸震哉先生をお招きして「思考と習慣の地域差」と題する講演会を開催しました。

飾らないお人柄の語り口で、内容の豊富さやおもしろさに2時間があっという間に過ぎました。中トロの百倍は美味しいという虫の話、ゴキブリの天ぷら……驚いた気持ち悪かったり。先生が様々な場所で出会った多くの人達との交流の話は、まさに国際交流の原点は言葉にあるのではなく、誠実な心そのものにある、ということを教えてくれました。

次年度にも

- (1) 年二回程度 講演会を開催
- (2) 7月、11月、3月に会報（K.I.F.A Plaza）発行の予定です。



交流部会長

藤谷 淳子

昨年12月に交流部会が催した在住外国人との交流パーティ（忘年会）は沢山の方が参加されました。

会員の友人である外国人ゲストは、国籍も10ヶ国に及

びました。宗教の違いから食事にも配慮が必要で、国際交流ならではの、の悩みもありました。中学生から大人まで幅広い年齢層が揃い、各々おしゃべりに花が咲き、会場は熱気に溢れました。

また、10月、法人会員である秋元病院に、シンガポールの政府関係者が視察にこられた折にも、短い時間でしたがTea-Partyをしました。

いずれの交流会も会員の方々の積極性に感心しました。

参加された外国の方からも次回を楽しみにされるほどで、次年度も楽しい交流会を催すつもりです。

年度内にホームステイ制度を検討し終え、次年度にはホームステイ受入れ希望者の要望に応えたいと思ひます。又、世界の料理講習会を手がけることにしました。会員の皆様の新しい交流の場にしたいと思ひます。



研修部会長

岡本 靖子

春が巡り K. I. F. A. も誕生一年目を迎えようとしています。研修部も当初の計画に沿い、約10名の部員で、語学講座の実施、ボランティア通訳制度の要綱作りにと、毎月一回の部会の中で議論沸騰、ようやく理事会で承認して頂きました。部員一同ホッとしているところです。

前回5講座(英語3、中国語2)でしたが、語学講座も1月14日からスタートした後期は3講座増え(英語5、中国語3)8講座となりました。(別表)各講座に部会員がたずさわり、受講者の皆さんのお手伝いをして居ります。

次年度の活動としては、

- (1) ボランティア通訳登録者名簿の作成と実施
- (2) 研修部主催講演会の開催
- (3) 語学講座の継続 等を考えております。

又、部会の中で、将来は常設のアダルト・スクールを作れたら……、

とか、気軽に外国語を話せるサロン風な場所があったら……とか、夢は広がっております。皆さんはどんな事を K.I.F.A. に期待していらっしゃるのでしょうか？ 研修部では皆さんの最適なアイディアをお待ちしております。

講座名	講師	会場	曜日・時間
英語会話 (昼)	ジョン・ウィリアムス 講師	視聴覚センター 演習室	火曜日 午前10時～ 午前11時30分
継続			午前11時30分
英語会話 (夜)	平野・ジャネット 講師	中央公民館 保育室	火曜日 午後7時～ 午後8時30分
継続			午後8時30分
英語会話 (昼)	ジョン・ウィリアムス 講師	東部公民館 第一学習室	水曜日 午前10時～ 午前11時30分
新規			午前11時30分
英語会話 (夜)	平野・ジャネット 講師	北部公民館 学習室	木曜日 午後6時30分～ 午後8時
新規			午後8時
英語会話 (昼)	ジョン・ウィリアムス 講師	中央公民館 保育室	日曜日 午前10時～ 午前11時30分
学生			午前11時30分
中国語会話 (昼)	船山 定五郎 講師	中央公民館 保育室	土曜日 午後3時～ 午後4時30分
継続			午後4時30分
中国語会話 (夜)	潘 雲芬 講師	中央公民館 保育室	土曜日 午後7時～ 午後8時30分
継続			午後8時30分
中国語会話 (昼)	潘 雲芬 講師	東部公民館 第一学習室	日曜日 午前9時30分～ 午前11時
新規			午前11時

語学研修講座を受講して

再発見したり驚いたり

鎌ヶ谷在住 赤羽 登美子

昨年5月鎌ヶ谷市国際交流協会の発足を知り入会、9月には語学研修講座が開講され、英会話火曜日昼の部に入講しました。

講師がカナダ育ちのジョン・ウィリアムス氏。

今更英語を学んでも流暢に話せる訳でもないのですが私には目的がありました。

外国人の日常的な習慣、考え方、物の見方、文化などを直に先生から教わることができるかもしれない、と思えたからです。

10回の講座はあっという間に終え、現在継続のクラスです。思っていたとおり、再発見をしたり驚いたりしています。表情豊かにジェスチャーたっぷりの会話はまだぎこちないけれど、これも国際的に通用するものと聞き直っています。

受講中は全て英語、質問されるとドキドキ、頭の中はパニック、後になって後悔することもしばしばあります。

会話がすでに出来る人もいますが、希望としては受講生のレベルを揃えていただきたいものです。英会話より目下、仲間との楽しいひとときを過ごしています。

新しい喜びを感じています！

東初富在住 中村 洋子

広報紙で講座の記事を見て、機会があれば、と思っていたので応募しました。が最終回まで続けられそうか、初級というが程度は、学び方進み具合、はてはどのような方々が参加なさるのか、あれこれ思い続けました。

期待と不安で教室へ。同席の方が親切で、雰囲気にも慣れると流暢な先生の言葉も耳に入りました。

皆さん質問に答えたり先生の言葉に笑ったりしているのに、私は殆ど理解出来ず緊張の初日でした。

受講を重ねるにつれ耳も慣れ、友達にも恵まれ、最終回まで終え、さらに継続のコースに挑戦しています。

語学は私の人生にはもう縁のないものと思っていましたが、外国人講師による楽しい会話を学ぶ機会を得て、新しい喜びを感じています。

日本語訳があれば尚一層学びやすいのに…と思います。

講座に携わる会員の皆様の活躍に接するにつけ、国際交流という未知の世界に少しずつ触れる思いです。

国際社会といわれる今、少しでも幅広い知職を得て、これからの人生を楽しく過ごしたいと思っています。

学ぶ機会が与えられた事、感謝しています。

千葉県国際交流活動研修会参加報告

「いま、何故国際化なのか？」

研修部会員 新宮 敏子

田母神 明子

1月18日、県教育委員会主催の研修会が渋谷教育学園幕張高校にて行なわれた。

「いま、何故国際化なのか」と題し、朝日新聞論説委員、西村秀俊氏の基調講演があった。

『「国際化」は国と国のレベルでのかかわり合いだけでなく、全ての日本人が各々主体的に国際交流というものを考えていこう。そして「地球規模で考える心構えが必要であり、積極的にとらえていこう」と提案された。

「文化の発展は、異文化との接触により高められていく。異文化を取り入れる事によって我国の文化は発達してきたが、現在は消費文明の只中にあり接触や関わりがなくとも生きていける状態になってきている。しかし人間の喜びは人と人のかかわり合いの中にあるはずで、国のレベルで考えた時、日本はアジアに目を向けてほしい。西洋文明の物差しから見ると生活程度・教育など遅れているが、アジアの人々は私たちに無いもの、人と人との深いかかわり合いを大切にすることを求めている。

アジアのことを知ろうという高校生対象の研修で、台湾の貧民街を見た女子高生の体験談である。『とても貧しい生活をし、苦しい思いをしているのに、スラム街の人々の目は見知らぬ外国人の私に常にやさしくほほえみかけていた。とても感動的だった。しかし日本に帰ってみると余程の知り合いでない限りはほほえみ挨拶をするということはない。なんと心が貧しい国なのだろうと思った。私は、これからは、ほほえみかけ挨拶するようになりたい』という内容であった。

人が生きていく時、関わり合いを欠くことは出来ないそして、子供達こそが次代を担う者であるから、知識偏重の狭い教育ではなく、国際的に対等につき合っていくものをどれだけ身につけさせられるか、生きる力をつけてやれるかが、これからの教育問題である。」と述べられ、感銘をうけた。

同時に国際交流の大切さと難しさを痛切に感じた。

他に鋸南町の国際理解・交流の事例発表、「帰国子女教育と国際化」と題するパネルディスカッションに参加した。

今後、活動をどのようにして多くの方に知ってもらいか、人材育成や交流事業をどのようにして展開していくかが私達の課題であると思った。

● ボランティア通訳者大募集！

研修部では、ボランティア通訳者を募集しています。英語、中国語、ドイツ語、フランス語、etc.....いずれも日常会話がおできになればO.K.。どうぞふるってご参加下さい。お待ちしております。

=研修部会=

● 会員の皆様へお願い

市内在住の外国人に知り合いのいらっしゃる方、またはご近所に居住者を見かける方、ご連絡下さい。K.I.F.A.の活動をもっと多様で、実生活に根ざしたものにするためにも、是非とも会員の皆様のご協力をいただきたいと思ひます。

=交流部会=

● まだ会員でないあなたに!!

あなたもK.I.F.A.の会員になりませんか？

Q 1：会員のメリットは？

会員には、次のような特典があります。

♡情報がいち早く、会員一人一人に届きます。

♡語学研修講座をはじめ、イベントには優先的に参加できます。

♡参加費なども会員割引が有ります。

Q 2：入会資格、会費は？

♡個人 市内に在住または通勤、通学の方
年度会費 一般：1,000円
学生： 500円

♡法人・団体 市内に事務所等を有すること
年度会費 一口10,000円以上

Q 3：積極的に活動したいのだけれど？

♡交流部会・研修部会・派遣部会・広報部会以上4つの部会のどれかに入って、あなたの経験、知識、意欲を生かして下さい。

事務局(市役所企画課内)

入会申込の問い合わせ

Tel. 45-1141内線300

● 外国の方と手紙を通して友達になりませんか

Pen-pal 募集

語学が不得手だからとか手紙の書き方がわからない、といって消極的にならないで...

見知らぬ人と、国の違いをこえて親しみ合い、友人と呼びあえるようになるなんて素晴らしいことだと思いませんか。

文通をご希望の方は、下記の要領で事務局あてにハガキでお申込み下さい。

文通相手として適当と思われる方を、ご紹介したいと思ひます。

尚、紹介できる人の国名は以下のとおりです。

- ニュージーランド ○イラン
○オーストラリア ○カナダ
○中国

又、他の国の方を紹介して下さる場合も事務局あてにご連絡下さい。

申込み方法 ハガキに記入して下さい。

- 住所 ○氏名 ○年齢 ○電話番号
○職業 ○趣味 ○希望する文通相手(性別、年齢、国名、etc.)

事務局 〒273-01

鎌ヶ谷市初富928-744 市役所内
鎌ヶ谷市国際文化交流協会

相手側との連絡・調整をするために若干、期日を要しますのご了承下さい。追ってご連絡します。

プラザの泉

Not enjoyment, and not sorrow, われらの運命の目的も
Is our destined end or way; 方法も喜びや悲しみに
But to act, that each to-morrow. あらずして、今日より
Find us farther than to-day. 明日こそ優れんと絶え
H.W.Longfellow 間なく励むことなり。

編集雑感

K.I.F.A.広報部会長として1年、オロオロしながらも楽しく務めさせていただきましたが、残念ながら千葉市へ引越すことになりました。K.I.F.A.のおかげでできた友人は一生の宝としていきたいと思ひます。

Plaza 2号の発行が部会長として最後の仕事となりましたが、楽しい紙面にすべく一生懸命やりました。

ものを作る時には苦労がつきものですが、そのぶん喜びもあるものだと実感しました。

広報部会員が増え、紙画が更に充実して、皆様に親しまれるK.I.F.A Plazaになるように。(加藤記久枝)

創刊号を手にした喜び、解放感を味わったのは夢だったのかしら。

喜びは束の間、原稿整理や諸々のことに時間をとられながら思うことは、未だに新しい顔を見ることのない部会員の不足。

最も落胆すべきは、部会長の引越し。新居に移る彼女はいいよ！残された者は、それにK.I.F.A Plazaはどうなると思う？ 慣まんやるかたなし——なんて言わないし、健気とまではいかないにしても頑張ることにしましょう。
広報紙として今後のK.I.F.A.の活動を皆様にお伝えしながら、会員相互の情報交換の場にしたいと思ひています。
会員皆様の積極的な参加をお待ちしています。(Y.神戸)